



# 東京都医療連携手帳運用手順書 患者さん用

東京都では、地域連携クリティカルパス「東京都医療連携手帳」を運用しています。「東京都医療連携手帳」(以下、手帳)は、手術・治療を施行した専門病院(治療病院)とかかりつけ医が役割を分担して、相互に連携しながら専門的な医療と総合的な診療を患者さんに提供することによって、切れ目のない治療を行うためのものです。



## 手帳を使うことによる利点

- ① 医療機関同士が、患者さんの治療経過を共有できるので、より適切な診療が可能になります。
- ② 診療予定表により、「いつ」「どこで」「どんな」検査や診療を受ければよいかわかります。

## 1 手帳をもらった時

手帳をもらったら、P3・4のお名前など、赤枠の各項目へご記入ください。

P3	P4
<p>患者さんは、38ページ「この連携手帳の使い方について」をご参照のうえ、各項目をご記入ください。</p>	
<p>お名前</p> <p>生年月日 (西暦)      年      月      日</p> <p>身長      cm      体重      kg</p>	<p>既往歴および現在治療中の病気</p>
<p>治療病院</p> <p>T E L</p> <p>I D</p> <p>主治医</p>	<p>アレルギー (薬、食べ物等)</p>
<p>かかりつけ医</p> <p>T E L</p> <p>I D</p> <p>主治医</p>	<p>内服薬 (お薬手帳がある時は記入不要)</p>
<p>かかりつけ薬局</p> <p>T E L</p>	
03	04

